

平成 27 年 第 9 回 定例教育委員会会議録

- 1 招集年月日 平成 27 年 9 月 28 日 (月) 14 時 00 分～
- 2 招集場所 役場別館 2 階会議室
- 3 出席委員 ・ 舩委員長 ・ 山之内智委員 ・ 齊藤委員 ・ 山之内英委員  
・ 金子教育長
- 4 事務局出席者 水本次長、山田参事、金子次長補佐、西主査
- 5 会議録署名委員の指名 (山之内智枝委員)
- 6 前回の会議録の承認 平成 27 年 第 8 回定例教育委員会 (8/31)
- 7 教育長報告
- 8 案 件  
議案第 12 号 平成 26 年度佐々町教育委員会自己点検・評価の承認について  
議案第 13 号 佐々町教育委員会学校訪問について
- 9 報告事項
  - (1) 新教育長の就任について
  - (2) 佐々町児童生徒理解支援 (QU アンケート) 結果について
  - (3) 長崎県市町村教育委員研究大会について
  - (4) 就学時検診の実施について
  - (5) 名義後援について
  - (6) 準要保護の 9 月認定追加について
  - (7) 行事関係報告について
  - (8) その他  
・ オアシスルーム活動状況報告
- 10 その他
  - (1) 次回開催日程 平成 27 年 10 月 26 日 (月) 14 時 00 分～
  - (2) 場 所 役場別館 2 階会議室
  - (3) そ の 他

<審議の経過（要約）>

委員長	ただ今から平成 27 年第 9 回定例教育委員会を開催します。
	<b>5 会議録署名委員の指名</b>
委員長	本日の会議録署名委員を指名します。山之内智枝委員にお願いします。
	<b>6 前回の会議録の承認</b>
委員長	前回の「平成 27 年第 8 回定例教育委員会会議録」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料により説明)
委員長	ありがとうございました。今、説明がありましたが、お気づきの点とか、お尋ねになりたいこととかございませんでしょうか。  ( 「なし」 の声あり。 )
委員長	ないようでしたら承認することといたします。
	<b>7 教育長報告事項</b>
委員長	次に、教育長報告に入ります。教育長からお願いします。
教育長	(1) 児童生徒の事故・怪我発生時の対応と指導（教頭・校長）について 教頭会、校長会をとおして、中学校部活の柔道部での事故を例にあげまして、学校危機管理マニュアルの重視ということで、医者への受診、管理職、保護者への速やかな報告、保護者等への謝罪、これは校長自ら謝罪する。また、教育委員会へ報告、その後の生徒指導ということで、この 4 点について教頭会、校長会で指導をいたしました。  (2) 産業建設文教委員会からの要望 産業建設文教委員会が 9 月 1 日に開催されまして、全国学力調査の報告をしたわけでございます。その時に、中学校 ICT を活用した授業の視察をしたいと委員長から依頼がありまして、10 月か 11 月で調整をしております。  (3) QU の結果について この件につきましては、山田参事から報告をお願いしたいと思います。 QU 調査は、楽しい学校生活を送るためのアンケートです。これは、早稲田大学の河村茂雄先生が研究されまして、図書文化社が請負って調査を行っております。佐々中学校は、5 月 26 日に、学力調査と合わせて実施しております。

佐々小学校と口石小学校は、6月5日の週に実施をしております。たくさんの質問項目がありまして、それを総括して現在の自分の状況とか学級での居心地など、一人ひとりデータ集約されるものです。大きく分けて学級満足度、学校生活の意欲というものがあります。見やすいように、学級生活満足群がパーセンテージで出ます。もう一つ学校生活意欲というのは総合の点数で、この資料にまとめております。見方としては、学級満足度が小学校1～3年生41、4～6年生が39、中学校が37となっております。学校生活意欲が、小学校1～3年生30.0、4～6年生が29.1、中学校が75.4が目安となっております。何故、点数が違うかといいますと、質問の項目が微妙に違ったり、また、小学校、中学校でも内容等が違っているからです。

次に、結果の概要ですが、学級満足度と学校生活意欲とでわかることが、両小中学校の1年生とも新しい環境の中で、やる気にあふれて生活をしているのではないかなと見られます。

教育委員会の対応としまして、8月3日に3校研究会総会がありまして、そこでQUの活用に向けた研修を行っております。それをもとに各小中学校で再度一人ひとりの結果を見て、担任が面談をしたり、学年部会等で具体的な対応や指導を検討・実施しています。

#### (4) 定例教育委員会開催の広報紙への記載について

町広報紙で、定例教育委員会開催のお知らせはしておりますが、10月の広報紙から傍聴ができる旨の記事も入れるよう予定をしておりますのでご了解をさせていただきたいと思っております。

#### (5) 全国学力調査結果の学校別公開・公表について

昨年から、該当学年の保護者には、各学校の結果の公表をするようにしてもらっています。まず、口石小学校の報告です。内容については総括的な部分の要点のみ発表させていただきます。調査結果で県と比較した場合、すべてプラスで、良いのは国語B、算数A・Bが特に良かったという結果でした。全体をとおして言えることは、基礎基本の定着、活用問題の記述式の部分で全ての子どもが書こうとする意欲が向上しています。理解面も向上しています。理科では、思考力・判断力・表現力の育成に力を入れてきた成果が見られ、国・県の平均を上回りました。しかし、読解力や理解力の面での二極化がみられ、基本的な知識・技能面で、できていない子ども達がいるので今後、支援をしていかなければいけないということです。学力向上のための方策ですが、全ての教科における基礎基本の定着を図っていくことや、「分かる授業」の実践をさらに深めていくことなどがあげられております。

次に、佐々小学校では、県との差ということでマイナスがついているのが三分野ございます。国語B、算数B、理科です。また、活用面で佐々小学校は点数がとれていないということで、教科別には、国語について「書くこと」や「読

むこと」、「言語についての知識理解・技能」の力は全国平均を上回っておりますが、「話すこと」の力が下回っています。また、「目的に応じて内容を整理しながら文章を書く力」の定着ができていないという結果がでております。算数について、「数と計算や量と測定」、「数量関係」の領域の力はついていますが、「図形領域」の力の定着が不十分でありました。また、国語、算数にしても活用問題が身につけていないとの結果でした。理科について、知識に関する問題においては、全国平均を上回っていますが、「科学的思考」の力の定着が不十分であったとの結果でした。学力向上のための方策ですが、児童の興味・関心を高める授業を行います。基礎的・基本的な事項については、今後もドリル学習や家庭学習において習得の徹底を図っていくことなどがあげられております。

次に、佐々中学校ですが、昨年度より成績は良くなっておりますが、国語 B でマイナスがついております。他は、理科を含めて県平均を上回っているという状況でございます。国語については、「読むこと」と「話すこと・聞くこと」の問題に対して苦手意識があるようです。また、語彙力の不足が見られます。

数学について、A・B 問題ともに、平均正答率はわずかですが長崎県と全国を上回っています。数学 B で課題は、資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができておりません。理科については、科学的事象を文章で記述するなど、表現に関わる問題の無回答率が高く、言語による表現に課題があります。また、科学的用語の使い方が誤っていたり、曖昧であったりという問題もありました。学力向上のための方策ですが、全教科で学力向上プランを作成し、全校的に学力向上に取り組んでいきます。ICT 教育の推進等の授業改善を行います。全教科において「書く活動」を重視し、思考力・判断力・表現力の向上を行いますなどがあげられています。

以上の内容を保護者へ報告されております。

#### (6) 学校の学力向上プランについて

県の学力調査が、中学校で悪かった。佐々小学校でも極端に悪かったので、学力向上プランを練り直して、検討・指導をして資料を提出してもらっております。

口石小学校ですが、県学力調査、全国学力調査が書いてございます。ここでは、5年生は県学力調査、6年生は全国学力調査の比較です。全て上回っていることがわかります。学力向上への基本方針ですが、個に応じた授業づくりをとおして、すべての児童がわかる授業改善を行う。各学年の児童の実態に応じた学習規律を定着させる。家庭学習の定着と質の向上を図るという方針があがっております。全学年共通実践項目として改善点が書かれております。「わかる授業」への授業改善、基礎・基本の定着に向けた取組、学習規律の定着、家庭学習の定着と質の向上があげられております。

次に、佐々小学校ですが、これは標準学力調査が書いてあります。2～6年生ですが、町で予算を組んでいる学力調査を全国調査と比較してあります。

	<p>佐々小はマイナスが見られます。6年生だけはプラスとなっております。</p> <p>算数は、25年はマイナス、26年度はプラスといった状況です。それから国語と算数について改善をしなければならない課題について整理をしてあります。</p> <p>次に、「佐々小学校の全国学力調査結果から」ということで、学力向上プランが書かれております。課題解決を目指し、授業改善を進めるといことで、国語、算数についての改善内容があがっております。</p> <p>次に、佐々中学校ですが、平成27年度学力向上プランということで、県学力調査や県英語検査結果がありますが、比較するとマイナスが見られます。学力向上は、学力向上部会で検討するようになっております。内容については、教科部会での活動として、3年間を見とおした観点別の課題と対策づくり、全校共通実践内容として「書く活動」の確認と共通実践についてあげられております。</p> <p>以上のようなことで、学力向上というのは、学校教育の一番の目的ですから、特に充実させていただくように、教頭会・校長会を通じてお願いをしているところでございます。</p>
委員長	<p>教育長報告をしていただきました。何かお尋ねになることはありませんか。</p> <p>( 「なし」 の声あり。 )</p>
委員長	<p>教育長報告を終わります。</p> <p>次に案件の審議に移ります。</p>
事務局	<p><b>8 議事</b></p> <p><u>議案第12号 平成26年度佐々町教育委員会自己点検・評価の承認について</u></p> <p>(議案により説明)</p> <p>川原委員長(外部評価委員)と大浦副委員長(外部評価委員)から評価報告書を提出していただいております。まず、川原委員長の報告書で、所見ですが、全体的に教育委員会はAランクが多く良く活動していると評価できますが、ただ気になることがあり、それは、教育委員の討議は活発ですが、オープンにしている会議に一般会員の参加が極めて少ないことです。これは、平成25年度の外部評価におきまして、私は「一般会員の参加を促す具体的提案として、第一段階として保護者のクラス委員や学年委員の参加を実現してはいかがでしょうか」との指摘をしていましたが、平成26年度はゼロとの所見がっております。</p> <p>次に、教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事項ですが、本来、教育はそれぞれの子供の個性を年齢に応じて引き出し延ばすことですが、今日、複雑化が進展するなかその過程において意に反して不登校を生ずる現</p>

象が生じております。教育委員会並びに学校現場におきましてその現象は認識されておりますが、残念ながら好結果を生む事態は生まれていません。26年度も25年度に続きBランクのままです。「アウトリーチをどうするか、その手始めとして親との対話が必要でしょうか。多様な手法をお考えいただき、成果を期待いたします。必要であれば具体的提案をさせていただきます」という報告がでております。

次に、大浦副委員長の報告ですが、まず、所見ですが、教育委員会の活動として、会議の運営について、資料の事前配布や委員長と事務局が連絡を取り合うなど活発な審議への工夫をされていますが、複数回、同席した会議で委員の発言は「ゼロ」に近かったようです。さらに工夫を重ね、活発な意見交換がされるような運営を望みます。

会議の公開について、広報さざ「みんなのひろば」に掲載していますが、傍聴の呼びかけとして十分とは言えません。会議を公開していることがはっきりわかるような『一言』を加えるなどしてはどうでしょうか。会議録の閲覧についても同様です。

首長との意見交換（総合教育会議）を傍聴しましたが、事務局からの説明が中心で質問もほとんどなく消化不良の感がしました。さらに努力していただきたいと思えます。

各種研修会へはこれからも積極的に参加し、資質向上に努めてほしいと思えます。

次に、教育委員会が管理・執行する事項ですが、武道館・資料館に関する構想は見聞しますが何の動きもないようです。建設のスケジュールなど教育委員会としてももう少し積極的に動いてほしいと思えます。（現地は前年度から変化がありません。）

県教育委員会との人事交流は、本町の教育界の活性化のために有効だと思います。今後も継続してほしいと思えます。

内容を正確にとらえ、各方面からの要望に適切に対処しています。とても大切なことだと思います。

点検・評価の文言に前年度とほぼ同じ事項が見られます。視点を変えながら評価することも必要ではないでしょうか。

次に、教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事項ですが、佐々町教育振興計画に基づき、一部表現に不備も見られましたが45項目の施策について、もれなく点検・評価されています。今後も改善のためのアンテナを高く張って、より良い事業になるよう努力してほしいと思えます。

性に関する教育の充実、教育環境整備の推進、不登校対策・支援など「B」評価の項目について早急な取り組みが必要です。なかでも、十分とは言えませんが外国語教育で民間の力の導入を試みたことは評価されると思えます。（前年度の反省が生かされています。）

最後、感想ですが、公的機関が情報を発信する際、注意しなければなら

	<p>ないことがたくさんあります。なかでも特に大切なことは「正確さ」だと私は思います。発言する内容・方法、媒体はもちろんですが、書式・誤字脱字に至るまで複数の目でチェックする体制を確立したいものです。</p> <p>視点を変えながらより良い組織作りをし、本町の教育振興を図ってほしいと思いますという報告がでております。</p>
教育長	<p>この外部評価報告書については、自己点検評価シートを添付しまして議会へ報告させていただきます。</p>
委員長	<p>議案第 12 号については、異議ありませんか。</p> <p>( 「異議なし」の声あり。 )</p>
委員長	<p>それでは、原案のとおり承認することといたします。</p>
事務局	<p><u>議案第 13 号 佐々町教育委員会学校訪問について</u> (議案により説明)</p> <p>佐々小学校が、10月19日(月)、教育委員の皆さんは、8時15分に学校へ集合をお願いいたします。口石小学校が、10月20日(火)、教育委員の皆さんは、8時10分に学校へ集合をお願いいたします。佐々中学校が、11月4日(水)、教育委員皆さんは、8時20分に学校へ集合をお願いいたします。</p> <p>当日の日程でございますが、教育委員、事務局職員の紹介及び教育長あいさつを職員朝会の後に行います。それから、全学級授業参観等、また、佐々小学校では、給食の試食を予定しております。このような内容で日程を組んでおりますのでよろしくをお願いいたします。</p>
委員長	<p>議案第 13 号については、よろしいでしょうか。</p> <p>( 「異議なし」の声あり。 )</p>
委員長	<p>次に、報告事項へ移ります。</p>
教育長	<p><b>9 報告</b></p> <p>(1) 新教育長の就任について (資料 1 にて報告)</p> <p>この件につきましては、この資料を作成するときは、議会の承認が得られる予定だったのですが、議会の承認が明日になってしまいましたので、今日公表することができなくなってしまいました。お詫び申し上げます。</p>

事務局

- (2) 佐々町児童生徒理解支援 (QU アンケート) 結果について  
(資料 2 にて報告)

この件につきましては、先ほどの教育長報告でありましたので割愛させていただきます。

- (3) 長崎県市町村教育委員研究大会について

日程が、11月6日(金)に島原市のホテル南風楼で予定されておりますのでよろしく願いいたします。前泊をいたしますので、11月5日(木)の15時に佐々を出発予定といたしております。研究大会の分科会は、第1分科会に山之内英樹委員、齊藤委員、次長補佐、第2分科会に舩委員、山之内智枝委員、教育長を予定しております。

- (4) 就学時検診の実施について

平成28年度就学予定者に対する就学時検診を、実施計画書に基づきまして予定いたしております。日程ですが、口石小学校10月21日(水)13時から14時、佐々小学校10月22日(水)13時から14時、それぞれ健康相談センターで予定いたしております。現時点で口石小学校就学予定者が83名、佐々小学校就学予定者が60名となっております。10月1日付でハガキにて通知を予定しております。検査項目については、聴力・視力・歯科・内科・面接です。

- (5) 名義後援について

後援承諾案件、3件について報告。

- (6) 準要保護の9月認定追加について

1件分について報告。

- (7) 行事関係報告について

10・11月教育委員会の主なスケジュールについて報告。

- (8) その他

オアシスルーム活動状況報告

10 その他

委員長

次回の定例委員会は、10月26日(月)14時00分から別館会議室の予定です。以上をもちまして、第9回の定例教育委員会を閉会します。

(16時00分閉会)

上記のとおり会議の次第を記載して、相違ないことを証するためにここに署名する。



平成 27 年 9 月 28 日

委員長

舩 由典

委員

山之内 智枝